

遊びのリーダーになろう！

コミュニティ脳トレ士ジュニア教室



令和元年6月29日(土)、平岩地域センターにて、子どもTOSSとして、「コミュニティ脳トレ士ジュニア教室」を行いました。(子ども夢基金助成活動、主催：TOSS 広島コンマサークル)

当日は、小学生13名と中学生1名の参加がありました。自ら遊んだり、プログラミングで機械を動かしたりと楽しく活動しました。最後に、一人ずつ検定を行い広島県に新たに13名の「コミュニティ脳トレ士ジュニア」が誕生しました。

- 1 始めの会
- 2 1分間じゃんけん
- 3 コミュニティ脳トレ士とは
- 4 「どこどこシート」で脳トレ
- 5 「カルタ」で脳トレ
- 6 プログラミングで脳トレ
- 7 検定練習 検定 感想書き
- 8 終わりの会(写真撮影)

コミュニティ脳トレ士ジュニア教室の内容です！



参加者の感想

家ではできないおもしろい遊びができて楽しかったです。昔からあるカルタから、最新のプログラミングまで楽しい体験ができました。カルタは現在の子どもの身に付けてほしい力が書かれていてすべての子どもにその力が備わればいいのかなと思いました。

(中学男子)



わたしは、初めて来てははずかしくていきたくなかったけど、行ってみて「あー、行ってよかった」と思いました。次にもし、脳トレがあったら、また来たいです。自分は最初、友だちができないかと思っていましたが、2~3人ぐらい友だちができたので、本当によかったです。1番よかったし、楽しかったのは・・・全部です！！

(3年女子)



子どもは、しっかり考え、やっていました。実際に自分の頭で考えて自分が命令を出し、楽しんで動かしていました。とにかくやってみること、楽しむことの大切さや、ほめること、励ますことの大切さを教えていただきました。

(保護者)



1 分間じゃんけん



1分間で何回勝つか、何回負けるか、「じゃんけんゲーム」をしました。じゃんけんは誰とでもできて、指を使うので脳も元気になります。

「どこどこシート」で脳トレ



ワーキングメモリ（短期記憶）を鍛える「どこどこシート」。ヒントから情報を得、色々なものを見つけました。二人でするとやる気になり、最後は、一人でシートに挑戦しました。脳も最高に元気になりました。

「プログラミング」で脳トレ



命令を出して、車を動かします。目的地に行く（目標を達成する）ためには、どういう順番で進めば良いのか考えてプログラムしました。

コミュニティ脳トレ士とは



「コミュニティ脳トレ士ジュニア 実践活用ブックレット」（株式会社騒人社脳トレセンター発行）を使って「遊びのリーダー」になるために必要なことを学びました。

「カルタ」で脳トレ



「ソーシャルカルタ」を2人組で行いました。しっかり言われたことを聞き、じっくり見てその言葉のカルタを取ることで脳も元気！そして、学習中のルールもわかりました。負けても大丈夫な心も養います。

コミュニティ脳トレ士認定証



コミュニティ脳トレ士ジュニアになるための検定をしました。大きな声で、笑顔で明るく自己紹介をし、認定証をもらいました。